

海外安全対策情報 2022 年第 2 四半期（4～6 月）

在ブルガリア日本国大使館

1 社会・治安情勢及び一般犯罪・凶悪犯罪の傾向

（1）社会情勢

ア 政治情勢

6 月 15 日、政府に対する不信任決議案が提出されたことを受け、採決に向けて政府派・反政府派によるデモの応酬がありました。6 月 22 日、国民議会において不信任決議案が可決され、その後も散発的なデモが行われていますが、治安への大きな影響は見られません。

イ 新型コロナウイルス情勢

5 月 1 日、ブルガリアにおける新型コロナウイルス感染症に関する入国規制が撤廃され、ブルガリア入国に際してワクチン接種証明や PCR 陰性証明等の提出が求められないこととなりました。

（2）治安情勢

ア 犯罪統計

ブルガリアの犯罪発生件数は近年減少傾向にあり、2021 年の犯罪総数は前年比マイナス 3.3%で、過去 10 年間で約 35%の減少となりました。しかし、その一方で、日本と比較すると依然として犯罪発生率は高く、人口 10 万人当たりの発生件数では、犯罪総数は日本の約 2.5 倍、殺人は約 5.1 倍、強盗は約 13.5 倍となっています。

イ 不法移民統計

内務省の発表によると、2021 年のブルガリア国内において検挙された不法移民は 10,799 人で、前年（3,487 人）の 3.1 倍と大幅に増加しました。

ウ 交通事故統計

内務省の発表によると、2021 年のブルガリア国内の交通事故発生件数は 6,080 件（前年比+370 件）、死者数は 561 人（前年比+98 人）、負傷者数は 7,609 人（前年比+488 人）でした。

欧州委員会によると、2021 年のブルガリアの人口 100 万人当たりの交通事故死者数 81 人で、93 人のルーマニアに次いで、EU 内ワースト 2 位です。

（3）邦人被害犯罪の発生状況

この期間中、邦人が被害に遭った事件は認知していません。

2 テロ・爆弾事件発生状況

この期間中、テロ・爆弾事件は発生していませんが、5月31日、テロ行為の準備等の容疑でノルウェー当局により欧州逮捕令状が出されていたノルウェー人の男が、スタラ・ザゴラにおいて逮捕される事案が発生しました。この男は、ブルガリア国内におけるテロ行為の準備や実施を計画していたものではないと発表されています。

3 誘拐・脅迫事件発生状況

邦人が被害に遭った事件は認知していません。

4 日本企業の安全に関する諸問題

ブルガリア国内における対日感情は基本的には良好で、日本人に対する差別行為はこれまであまり見られません。新型コロナウイルスは中国から持ち込まれたという思いや、長引くコロナ禍を背景としたストレスや不満の蓄積により、今後、中国人と日本人との混同も含め、アジア人全体に対する差別が顕在化してくるおそれがありますので、十分ご注意ください。